資料２－１

子どもの育ちと居場所を支える環境づくり

①大型児童館の整備について

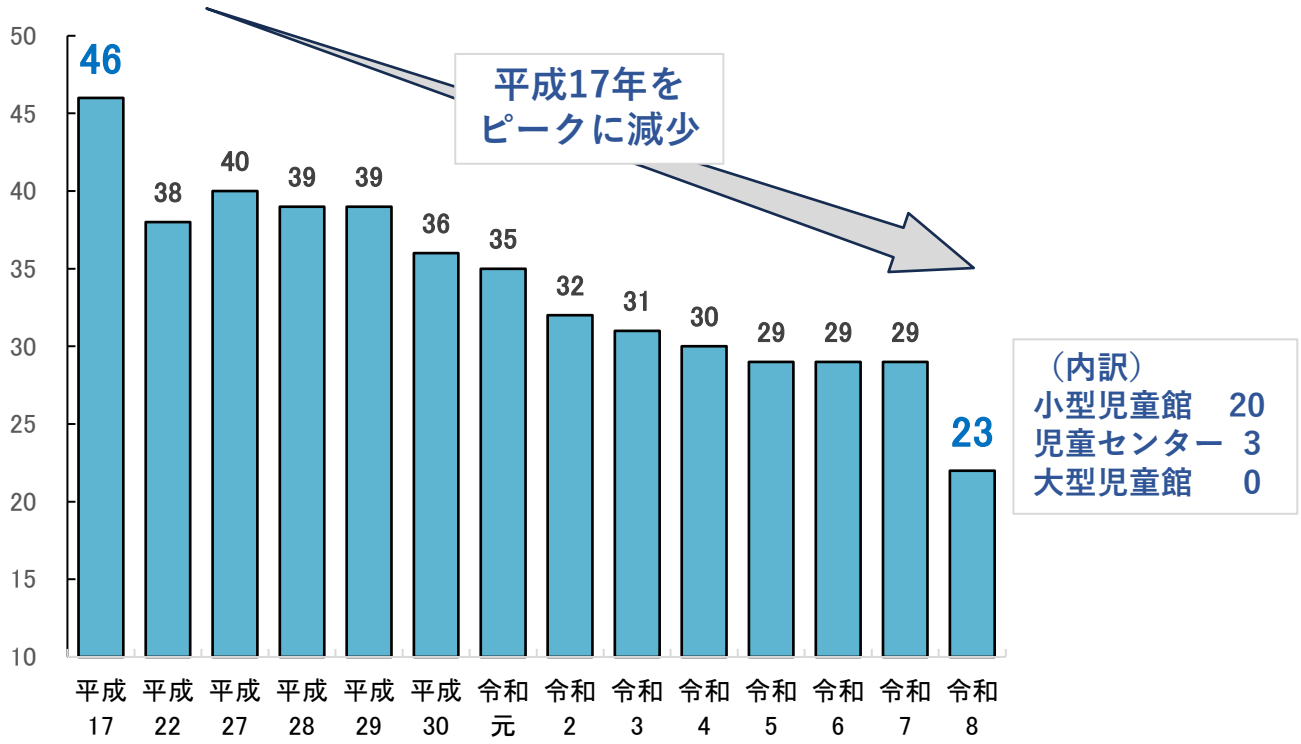
山口県健康福祉部
こども・子育て応援局

1　山口県の児童館の現状

県内市町等の児童館の設置状況

- **小型児童館20か所、児童センター３か所、計23か所設置**（令和８年４月時点）
- **児童館の数は年々減少し、地域も偏在**

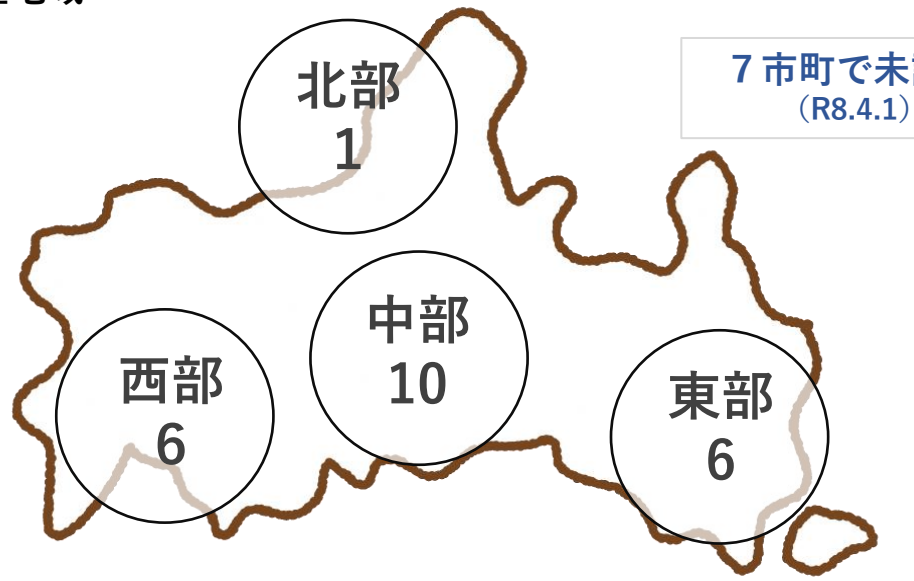
＜県内児童館の数＞



（内訳）
小型児童館　20
児童センター　3
大型児童館　0

（社会福祉等調査(厚生労働省)及び山口県調べ）

＜設置地域＞



7市町で未設置
（R8.4.1）

- 東部６　（岩国市２　周防大島町１　平生町１、下松市１　光市１）
- 中部１０　（山口市５　防府市４　美祢市１）
- 西部６　（下関市４　宇部市１　山陽小野田市１）
- 北部１　（萩市１）

（社会福祉等調査(厚生労働省)及び山口県調べ）

山口県児童センターの状況



場　　所	山口県山口市維新公園4丁目5-1（維新百年記念公園内）
開設時期	昭和５６年（1981年）７月２５日
施設概要	鉄筋コンクリート造一部２階建 敷地面積 11,673 ㎡ 建物延床面積2,263㎡
所有状況	建物：社会福祉法人山口県社会福祉事業団 土地：県　※事業団へ貸付
職員配置	館長、児童厚生員２名、主事、嘱託・非常勤職員６名(R6)

○昭和56年に社会福祉法人山口県社会福祉事業団が山口県児童センターを建設。

○山口県児童センターは、各児童館館長や児童厚生員等を対象とした研修を行うなど、長年にわたって、県内児童館の連絡調整・支援を行っており、**実質的に県の「大型児童館」としての役割**を果たしてきた。

○こうした中、山口県児童センターの建物は、**完成後約４５年が経過し老朽化が顕著**となりつつある。

○設置後１５年が経過した屋外の大型遊具も経年劣化による破損が複数個所に及び、一部は使用停止中となっている。

2　大型児童館整備の基本方針

新たな大型児童館のコンセプト（案）

背景等

- 少子化の進行や地域におけるつながりの希薄化等により、体験格差の拡大や交流機会の減少など、**子どもが抱える課題は一層多様化・複雑化**しており、**これに対応するための機能強化が必要**
- 若者の県外流出に歯止めを掛けるためには、**郷土への誇りや愛着を幼少期から育み、山口県で活躍したい、山口県の未来に貢献したいという気持ちを持つ子どもたちを育成していくことが重要**
- 取組の推進に当たっては、市町はもとより、**官民による連携・協働や情報共有等の強化が不可欠**であり、**これに向けた総合的・広域的なコーディネート機能の充実が求められる**ところ

コンセプト

子どもたちの夢が山口県の未来とつながる“サード・プレイス”

－ 山口県の未来を創る子どもたちの豊かな心と生きる力の育成 －

- 幅広い世代等の多様な子どもたちが、子ども同士で、親子・家族で、あるいは大人と活動を共にする中で創造的な交流ができる、**子どもたちにとっての新たな“サード・プレイス（第３の居場所）”**を創出し、**山口県の特色や地域資源も活かした様々な遊び・体験・学び**を通して、**子どもたちの豊かな心と生きる力、未来への夢を育む**とともに、**ふるさと山口への誇りと愛着を高める**。
- さらに、**県内児童館の中枢機能を担う拠点**として、取組を広く県内へ波及させ、官民による連携・協働の下、**本県の未来を創る子どもたちの健全育成と新たな時代に向けた人づくりを、全県的に推進**する。

新たな大型児童館の機能・役割（案）

機能・役割の４つの柱

子どもの遊び・体験・交流機能

- **創造的な遊び・体験・学びの機会の提供**



大型児童館ならではの大きさや開放感の中で、**本県の特色も活かした創造的な遊び・体験・学びの機会**を提供

- **「こどもまんなか」で多様な交流の場の創出**



子どもを中心に、**多様な人々が世代を超えてつながるインクルーシブな交流の場**を創出

・新たな遊び・体験
・子どもの声
・支援ニーズ

県内全域へ共有・展開

総合的・広域的拠点機能

- **県内児童館の中枢機能を担う拠点**



県内児童館の中核拠点として、**運営面での指導や取組の横展開、連携事業の実施、関係人材の育成**を推進

- **子ども・子育て支援の連携拠点**



子ども・子育て支援機関や関係団体等との連携・協働を促進し、**子ども・子育て支援ネットワーク**を充実強化

・　**大型児童館ならではの遊び・体験・学びの機会を提供し、広域から多くの利用者を惹きつける**ことにより、**多様な人々が世代を超えてつながる場を創出**する。

・　そこから得られた**遊び・体験のノウハウや把握した子育て支援に関するニーズ等を、県内全域へ共有・展開**し、地域における子ども・子育て支援の充実につなげ、**子どもたちの健全育成と本県が目指す人づくりの取組を全県的に推進**する。

子どもの遊び・体験・交流機能

創造的な遊び・体験・学びの機会の提供

機能等の概要

大型児童館ならではの規模の大きさや開放感の中で、本県の特色や地域資源も積極的に活かした、創造的で質の高い遊び・体験・学びの機会を提供し、子どもの発達の増進と郷土に対する意識の深化を図る。

取組の方向性

- **天候や季節に左右されることなく利用**できる、大型児童館ならではの**大規模な屋内遊具**の導入や、**保護者を含む幅広い世代にとって魅力のある空間づくり**の実施
- 文化芸術、科学・宇宙、デジタル技術等の**多様な分野に実際に触れ、体験する機会**や、専門家等による実演・指導など**本物に接する機会**の提供
- **民間企業や大学等との連携・協働**による、産業や自然、歴史文化など**本県の様々な魅力に触れる特色ある展示・体験プログラム**の実施
- 子どもたちが企画から準備、運営まで**自ら考え挑戦し、活動できるプログラム**や、**児童館づくりに主体的に参画できる取組**の実施

（他施設取組例）



屋内大型遊具（ギャラクシティ（足立区こども未来創造館））



プラネタリウム（コジマ子どもサイエンスパーク（栃木県子ども総合科学館））

期待される効果

◎ 知的好奇心や創造性の育成　◎ 郷土への誇りや愛着の醸成　◎ 自信と挑戦意欲の向上

子どもの遊び・体験・交流機能　「こどもまんなか」で多様な交流の場の創出

機能等の概要

子どもを中心に、多様な人々が世代を超えてつながるとともに、誰もが安心して過ごすことのできる、インクルーシブな交流の場を創出する。

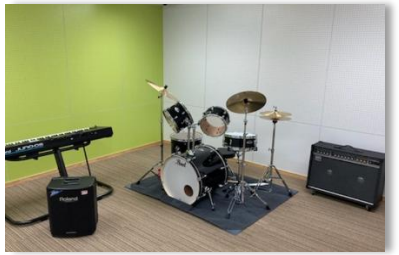
取組の方向性

- **子どもの年齢や発達段階に応じて安心・快適に過ごせる交流スペース**、安心して自由に過ごすことのできる**フリースペースや学習スペース**の提供
- 中・高校生世代までの幅広い年齢の子どもが、共通の趣味や興味でつながる仲間と共に、**主体的かつ自由に取り組む文化芸術の活動スペース及び発表の場**の提供
- 障害の有無や年齢、個々の特性等にかかわらず、**多様な人々が参加できる遊びや交流のプログラム**等の実施
- **大学生やボランティア団体等の多様な主体との協働**による、イベントやワークショップ等の企画・実施

（他施設取組例）



遊びのプログラム（愛知県児童総合センター）



音楽スタジオ（こまきこども未来館（愛知県小牧市））

期待される効果

◎ 社会性・協調性の育成　◎ 自己表現力の向上　◎ 自己肯定感や多様性を尊重する価値観の醸成

総合的・広域的拠点機能　県内児童館の中枢機能を担う拠点

機能等の概要

県内児童館のネットワークの中核拠点として、運営面での指導及び連絡調整、各児童館への取組の横展開や連携事業の実施、関係人材の育成などを推進し、県全体における子どもの健全育成機能を強化する。

取組の方向性

- 様々な環境変化や技術革新の中で、子どもの遊び方も大きく変化していることを踏まえ、**将来的な子どもたちのニーズも見据えた新しい遊びのプログラムの開発・普及**
- 大型児童館が県内の各児童館や公民館等に出向いて行う、遊び・体験の場の提供（**移動児童館の実施**）
- 児童館連絡協議会等を通じた児童館同士の情報交換・共有の促進や、**児童館館長・児童厚生員など関係職員に対する研修**等の実施
- 災害時において**被災した子どもたちをケアするための遊びのプログラムの開発と、提供**に係る広域的な支援

（他施設取組例）



移動児童館車両（愛知県児童総合センター）



愛知県児童館連絡協議会　研修・ブロック会
（愛知県児童総合センター）

期待される効果

◎ 県内児童館の支援水準の向上　◎ 地域による支援差の縮小　◎ 児童厚生員等の専門性の向上

総合的・広域的拠点機能　子ども・子育て支援の連携拠点

機能等の概要

子ども・子育て支援機関や支援団体、地域活動団体等をつなぐ拠点として、関係する主体間での連携・協働を促進し、子どもや子育て家庭に対する支援ネットワークの充実強化を図る。

取組の方向性

- 不登校、ひきこもり、発達に特性のある子どもなど、多様な支援ニーズを有する子どもや子育て家庭に対する**関係機関と連携した相談支援や、適切な支援機関への橋渡し**
- 子育て支援団体や地域活動団体等を対象とした**研修会や、相互交流活動**の実施
- 保育士など子育て支援に関わる人材の育成機能の充実に向けた、**実習や研修のための環境の確保**
- **大型児童館と子ども・子育て支援機関等との連携による啓発事業**等の実施
- **県内の子どもたちの意見の聴取・発信**、県内の子ども・子育て支援情報の発信

（他施設取組例）





子育て支援者又は子育て支援のボランティア研修
（愛知県児童総合センター）

期待される効果

◎ 子どもや家庭の課題の早期発見・早期支援　◎ 関係団体の活動の活性化　◎ 社会全体で子育てを応援する機運の醸成

施設内容のイメージ（案）

※画像は、各諸室・設備のイメージを示すために生成AIを用いて作成したものであり、今後の設計内容を示すものではありません。

子どもの遊び・体験・交流機能

プラネタリウム

新たな大型児童館の象徴となる施設



大型屋内遊具・広場

斜面や起伏、ネット遊具等による立体的な遊びの空間



ワークショップスペース

机を使って各種プログラムを行う空間



多目的ホール

場所を大きく使う遊びや文化芸術活動の発表等を行う空間



乳幼児用スペース

発達に応じた遊具や絵本コーナーを設置した乳幼児が安心して遊べる空間



飲食スペース

親子で飲食や休憩ができる空間



中・高校生世代向け

フリースペース

自由に活動や交流を行う空間（eスポーツ、ボードゲーム等）



音楽・ダンススタジオ

楽器や音響設備、鏡等を備えた防音室



自習スペース

静かに勉強や読書にいそしむ空間



総合的・広域的拠点機能

子育て相談・情報発信スペース

子育て相談や各団体等の情報発信・啓発スペース



研修室・会議室

子育て関係人材の育成や関係団体の連携強化のための研修・会議スペース



移動児童館車両

大型児童館の遊びや体験を県内各地に届ける車両



3　大型児童館の整備スケジュール

想定スケジュール

R8	R9	R10～11	R12～13	R14
基本構想策定	基本計画策定	基本設計・実施設計	工事	施設オープン

令和８年度のスケジュール

時期	内　　容	
6月	第１回基本構想検討委員会	・概要説明 ・大型児童館の機能・役割の検討
９月	第２回基本構想検討委員会	・大型児童館の機能・役割、建設地の検討
１１月	第３回基本構想検討委員会	・基本構想素案のとりまとめ
12月	パブリックコメントの実施	
２月	第４回基本構想検討委員会	・基本構想最終案のとりまとめ
３月	基本構想策定・公表	